

第9回九州・山口連合大会

会長：佐賀大学理事・副学長・病院長 宮崎耕治



一般演題発表風景

2010年11月5日(金)、6日(土)の2日間、第9回九州・山口連合大会を佐賀市文化会館で開催しました。佐賀市ではこの時期は毎年国際バルーン大会が開かれており、好天候にも恵まれ熱気溢れる会期となりました。

約1000名が参加し、「ITによる医療の質の検証」をテーマに掲げ、理事長講演、会長講演をはさみ、4題の教育講演、3題のシンポジウムでITと医療連携、医療安全を中心に近未来を展望して頂きました。さらに8題のランチョンセミナーを利用して「クラウド型医療データベース構築」や「DPCデータからの医療経営解析」など新たな取り組みを紹介しています。医療連携、医療の質、医療安全など本学会の主要テーマについては一般演題245題、クリティカルパス展示50題の発表に、活発な討論や意見交換が繰り広げられました。教育セミナーでは恒例となったクリティカルパスの活用を教示頂き、実践セミナーではフットケアを取り上げ、いずれも大変好評で講師の先生方に御礼申し上げます。



クリティカルパス展示

特別講演では「焼き物の里」佐賀にふさわしく人間国宝である第14代酒井田柿右衛門氏に「柿右衛門の世界」と題してお話頂きました。柿右衛門作品の古典から第14代までを解説頂き、さらに、伝統工芸の職人世界の継承の難しさ、科学の力で綺麗に表現は出来ても職人による美しい味わいは出せないなど含蓄に富むお話を聴くことができました。

進化著しいITはクリティカルパス、医療連携、経営など医療マネジメントの様々な分野で既に多彩に活用されており、今後、PHR,EHR化、クラウド化によって地域医療再生の有用なツールとなると確信できた学術集会となりました。



シンポジウム風景

会長挨拶

ご参加頂きました皆様と、大会運営にご支援、ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げ、第9回の開催報告とさせていただきます。



優秀クリティカルパス表彰式

第1回愛媛県支部学術集会

財団法人積善会付属十全総合病院院長 古林 太加志

2010年11月21日(日)14:00~18:00、松山市総合コミュニティセンター2階 第1、2、3会議室において第1回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会、第1回支部総会、第1回支部役員会を行いました。

学術集会では、特別講演：演題名「医療安全とクリティカルパス」野村一俊先生(熊本医療センター統括診療部長・日本医療マネジメント学会理事)、一般講演：演題名「メディエーションについて」今川俊一郎先生(今川整形外科医院院長)および一般演題17題が発表されました。

出席者は日本医療マネジメント学会愛媛県支部会員26名、新しい支部会員11名、一般参加者63名の計100名で第1回の愛媛県支部学術集会としては、まずまずの盛況であったと喜んでおります。今後支部の活動をさらに活性化していきたいと思っております。

分科会等開催案内

2010年度第2回クリティカルパス実践セミナーin岡山

テーマ：クリティカルパスの作成とバリエーション分析

クリティカルパスの作成運用を担当する実務者のための研修を下記要領で実施します。本研修においては、作成ソフトを用いたクリティカルパスの作成と主催者側が用意したクリティカルパスについてデータをもとにバリエーション分析を行います。クリティカルパスの作成と見直しについての理解を深めるとともに、さらに、最新のクリティカルパスについての情報交換を行います。

実務研修の為に定員が限られていますので、お早めにお申込み下さいますようお願いいたします。

- ・日時 2011年1月29日(土) 12:30~30日(日) 14:30
- ・会場 国立病院機構岡山医療センター4階 大研修室 (岡山市北区田益1711-1)

・プログラム

第1日目 1月29日(土)

12:30 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:05 講演I 「クリティカルパス作成の基本」

国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川哲志